



# 学園独自の付加価値の創出

遊びと集団生活を通して  
「智性・徳性・身体・感性・行動」を育むために

---

平成30年6月9日(土)  
学校法人安城学園 学園長  
寺部 暁



# はじめに





# 私たちの共通目標

## ◆ 質的目標

- できるだけ早期(4年以内)に「**智性・徳性・身体・感性・行動**」に基づいた**自学・共学システム**(教育システム「**学びの泉**」(仮称))の**基礎を構築**する

## ◆ 量的目標

- できるだけ早期(4年以内)に**持続可能性の基盤の仕組みを構築**する





# 私立学校を取り巻く環境（その1）

現代社会の変化





# AIの普及・IT社会の高度化

- ◆ AI普及により無くなる仕事・生まれる仕事
- ◆ 対話型の音声認識に対応したアシスタント機能を持つAIスピーカー
- ◆ 大学入試問題を解くAIロボット
- ◆ AI活用で「教えない先生」が登場  
1,800億円に膨らむ教育×IT市場
- ◆ ハンコ押すだけの管理職は5年後に消える



© 2018 Google



Copyright © DENSO CORPORATION.



# AIの普及・IT社会の高度化

- ◆ RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)による定型業務の自動化
- ◆ キャッシュレス決済・レジレス無人店舗の登場
- ◆ 多種・大量な個人情報データのデータ化
- ◆ 量子コンピューターの登場



© 1996–2018, Amazon.com, Inc

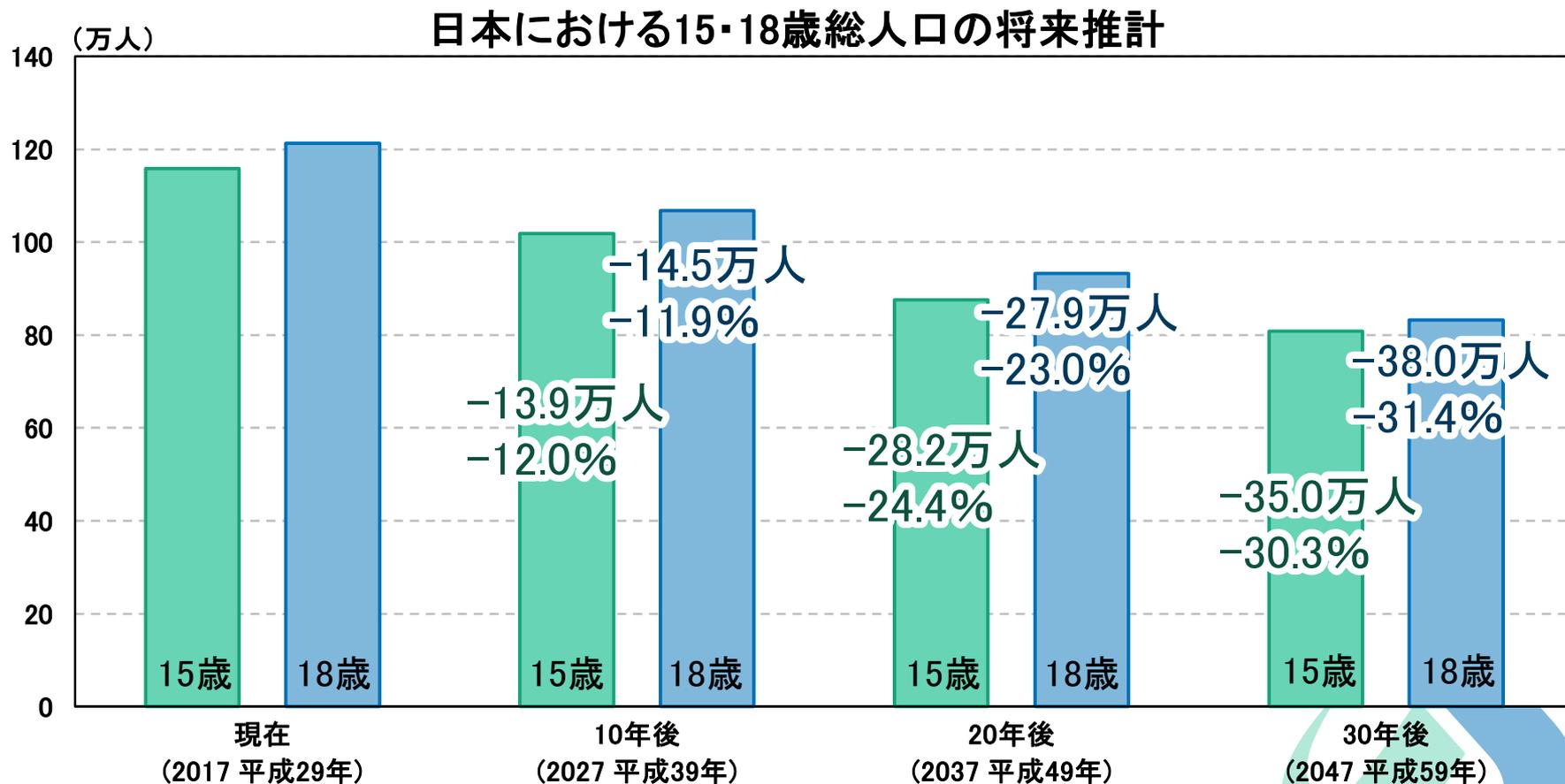


Copyright © D-Waveシステム D-Waveシステムウェブサイト





# 本格的な少子化社会の到来



※ 平成29年は、総務省統計局『人口推計』における「年齢各歳別総人口(10月1日現在)」より。平成30年以降は、国立社会保障・人口問題研究所発行『日本の将来推計人口(平成29年推計)』における「年齢各歳別人口:出生中位(死亡中位)推計」より



# 私立学校を取り巻く環境（その2）

教育界の変化





# 国の教育政策

## ◆ 内部質の保証について

- 全学的チェック(三つの方針の点検・評価、IR機能、教員評価など)
- カリキュラムマネジメント(履修系統図、アセスメント方針、GPA制度)
- 学生の学び保証(学修時間・行動・成果の把握、授業評価の活用)

## ◆ 高大接続について

## ◆ 護送船団方式からの脱却

- 経常費補助金の制度(配分率)変更
  - 定員未充足に対する調整係数、教育の質を評価する指標など

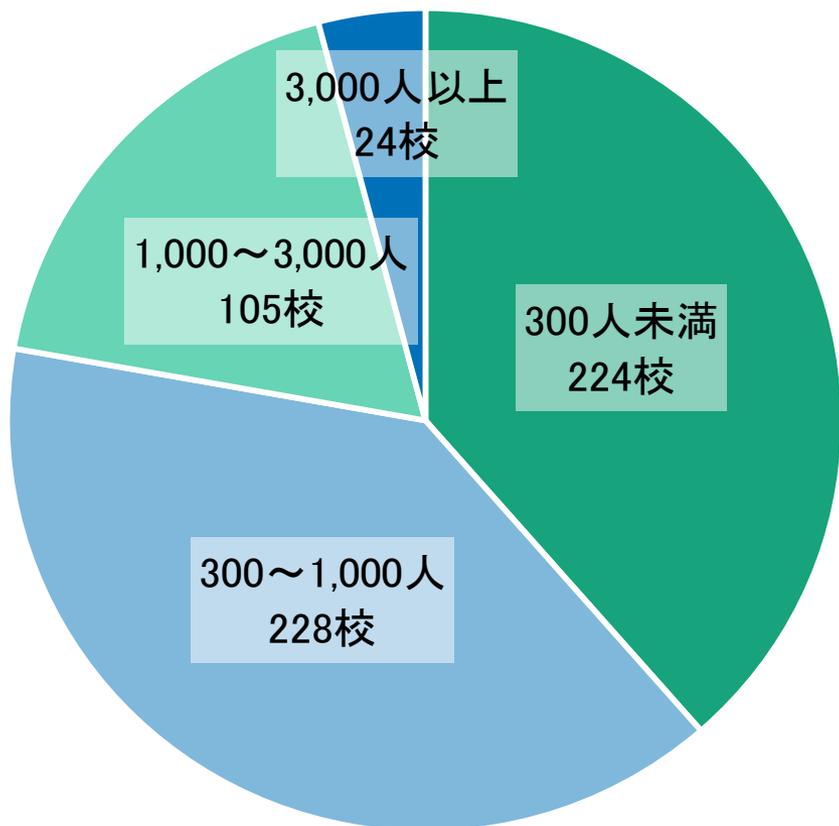
## ◆ 働き方改革について



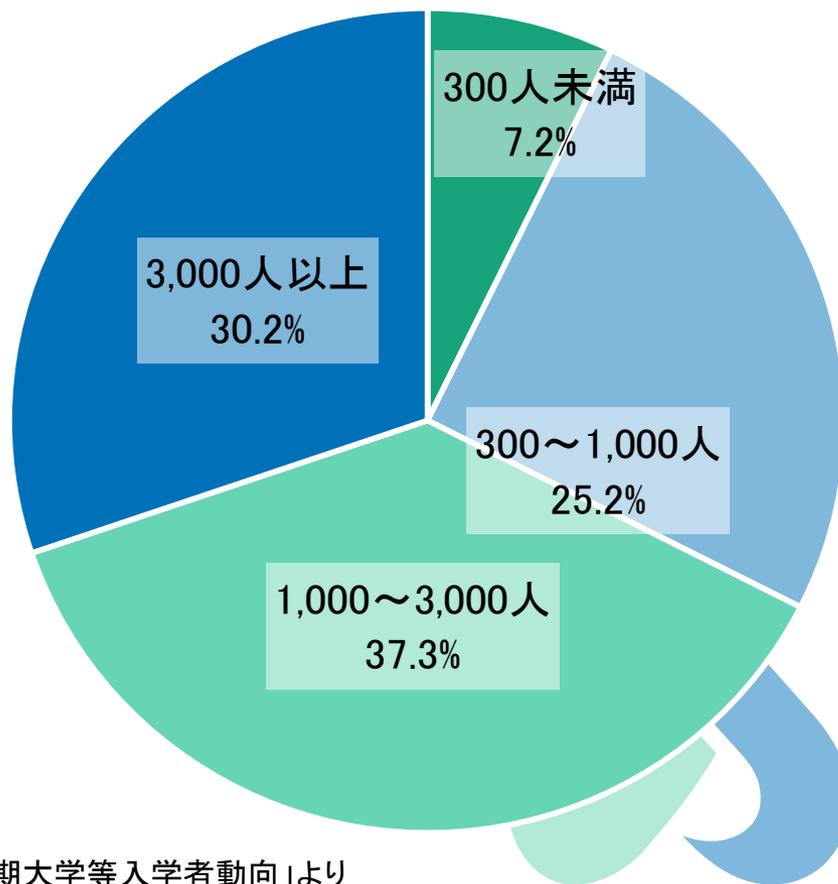


# 一条校間の競争

## ◆ 入学定員規模別 私立大学比率



## ◆ 入学定員規模別 入学者比率



※) 日本私立大学振興・共済事業団発行「平成29年度 私立大学・短期大学等入学者動向」より



# 一条校間の競争

- ◆ 地方私立大学の公立大学化
- ◆ オンライン大学による海外大学の参入
- ◆ 少子化により入学者の奪い合い
  - 特に、大学・短期大学は顕著！

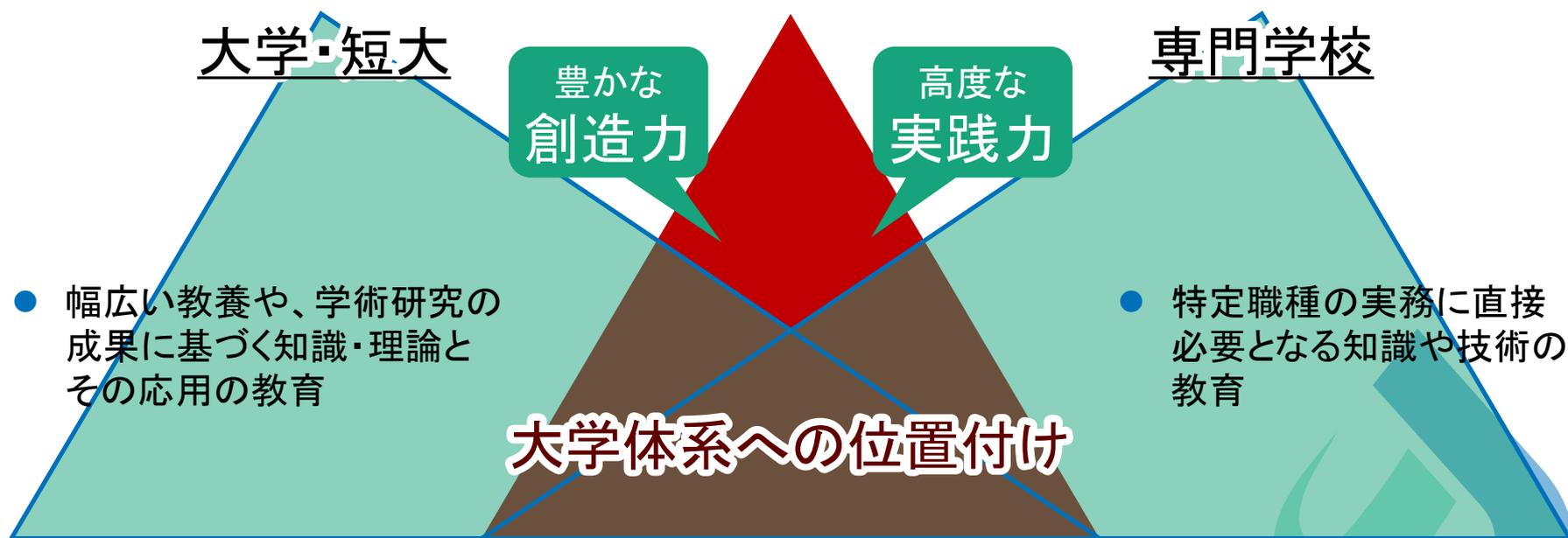




# 専門学校、専門職大学・短大との競争

## ◆ 新たな高等教育機関の制度化

### 専門職大学・専門職短期大学



※) 文部科学省作成「専門職大学・専門職短期大学の制度化」説明資料より



# 民間の教育産業との競争

## ◆ Benesse 〈こどもちゃれんじ〉

- 中国・台湾を中心に海外展開。会員数約115万人

## ◆ KUMON「公文式」

- 50の国と地域で学びを提供

⇒ 教育システムの輸出化

## ◆ RECRUIT「スタディサプリ」

- 4万本以上の神授業が見放題！

## ◆ Z-KAI「最速最短学習コース」

- AI先生による個別指導

⇒ 教育システムの開発力



Copyright © Benesse Corporation.



© 2018 Kumon Institute of Education Co.,Ltd.



© Recruit Marketing Partners Co.,Ltd.



Copyright(c) Z-kai Inc.



# 私立学校を取り巻く環境（その3）

安城市の幼児教育

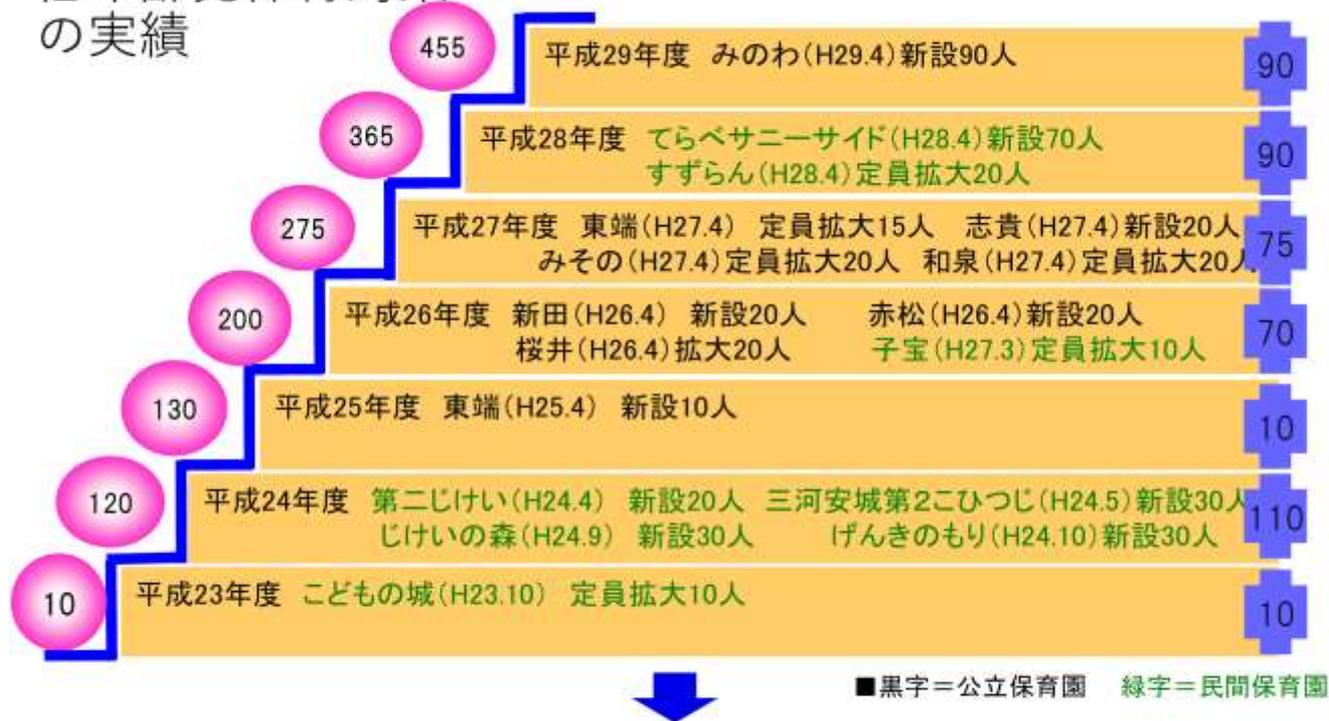




# 安城市 低年齢児保育対策の実績

-3-

## 低年齢児保育対策 の実績



**平成29年10月1日時点で、待機児童16人発生**  
 (内訳) 0歳児5人、1歳児7人、2歳児4人

※平成30年2月9日開催「安城市子ども・子育て会議」配布資料より



# 安城市 幼児教育・保育の課題と対応策

## 本市が抱える幼児教育・保育の行政課題

- ①低年齢児保育ニーズ増大への対応
- ②公立幼稚園ニーズ減少への対応
- ③人口変動(地域特性・年少人口の減少)への対応

方針:引き続き民間保育園誘致を進める。  
公立保育園の新たな整備は行わず、既存幼稚園の活用を図る。

### 対応策

民間認可保育園の  
誘致を進めます

公立幼稚園の  
「認定こども園」移行  
を検討します

-4-

※平成30年2月9日開催「安城市子ども・子育て会議」配布資料より



# 安城市 保育園・認定こども園の新設

## ◆平成30年4月

- 安城市立ゆたか保育園が10名定員増

## ◆平成31年4月

- ブライト保育園安城桜町が開設
- 根崎保育園が認定こども園に移行



Copyright © 社会福祉法人済聖会





# 教育の課題

私立学校を取り巻く環境から





# 教育の課題(文部科学省)

- ◆生きて働く**知識・技能**の習得
- ◆未知の状況にも対応できる**思考力・判断力・表現力**等の育成
- ◆学びを人生や社会に生かそうとする**学びに向う力・人間性等**の涵養

(平成28・29年度改訂の次期学習指導要領より)





# 教育の課題(文部科学省)

- ◆ 教科等を横断する汎用的なスキル・コンピテンシー等に関わるもの
  - 問題解決、論理的思考、コミュニケーション、意欲など
  - メタ認知(自己調整や内省、批判的思考等をかのようにするもの)
- ◆ 教科等の本質に関わるもの(教科等ならではの見方・考え方など)
- ◆ 教科等に固有の知識や個別スキルに関するもの

(平成26年3月31日発表「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会—論点整理—」より)



# 教育の課題(安城学園)

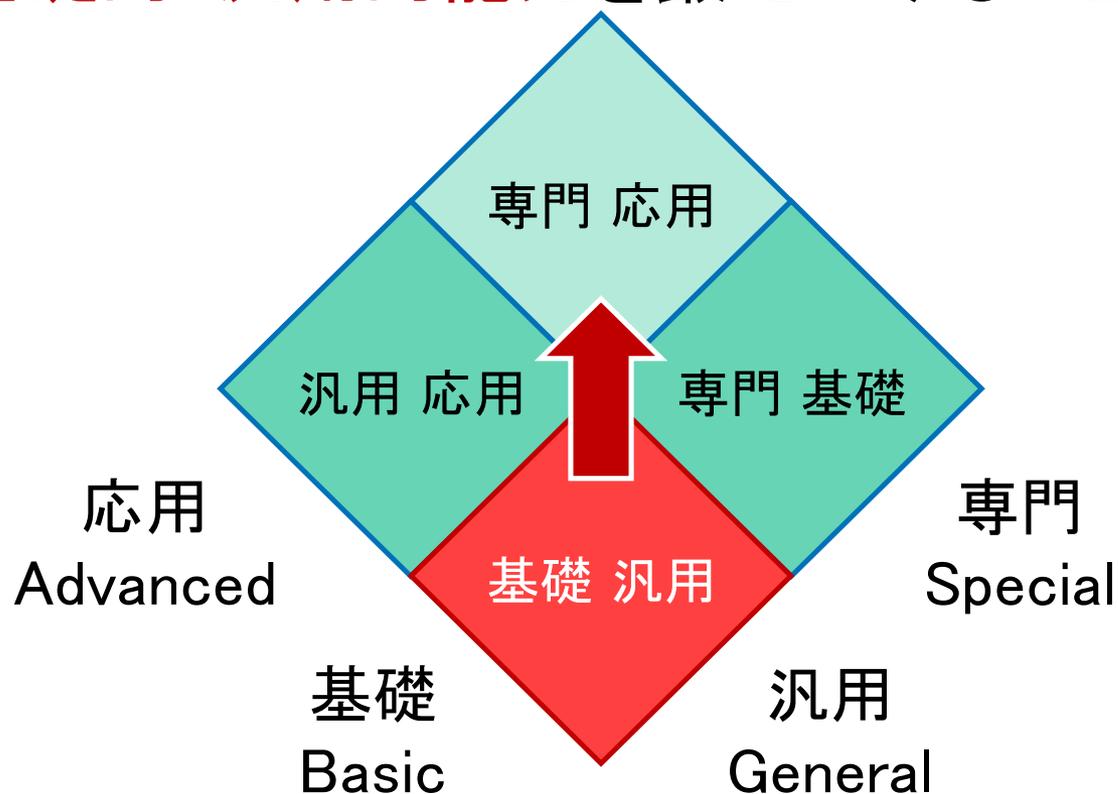
- ◆ 社会の変化に**適応できる能力**の育成と  
社会に変化を**誘起できる能力**の育成
- ◆ **教科型能力**の育成と**教科横断型能力**の育成
- ◆ ペーパーテストで**計れる能力**の育成と  
ペーパーテストでは**計りがたい能力**の育成
- ◆ **認知的能力**の育成と**非認知的能力**の育成
- ◆ 高度情報社会において  
**理性的に情報を操作・処理できる能力**の育成
- ◆ 剥落しない**耐用年数の長い基礎学力**の育成





# 教育の課題(安城学園版) 要約

- ◆ 汎用的能力の基礎の上に専門的能力を育成すること
- ◆ 特に**基礎的・汎用的能力**を鍛え上げること





# 持続可能性の基盤





# 持続可能性の基盤は

◆ 付加価値を継続的に創出できる

⇒ 持続可能

◆ 付加価値を継続的に創出できない

⇒ 持続不可能

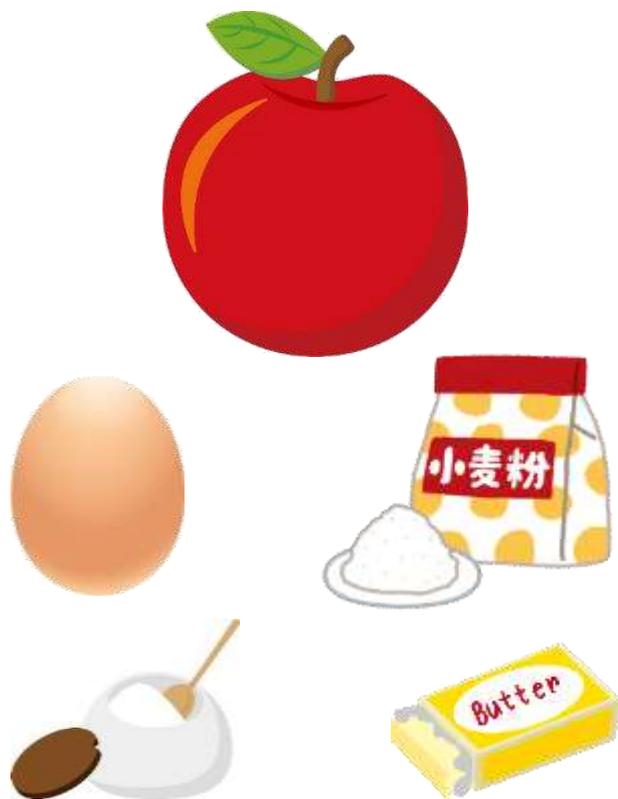




# 付加価値とは

【材料費】300円

【諸経費】300円



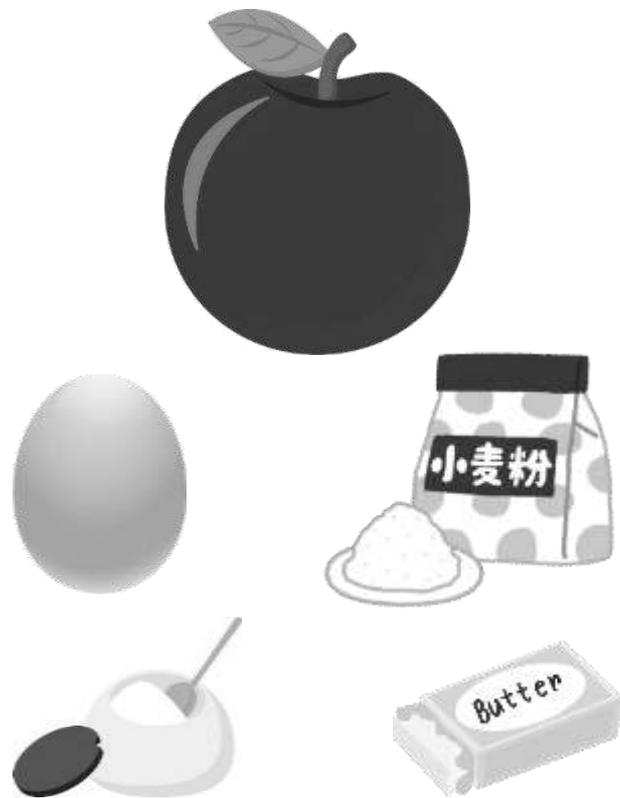


# 付加価値とは

【材料費】300円

【諸経費】300円

【価格】1,000円



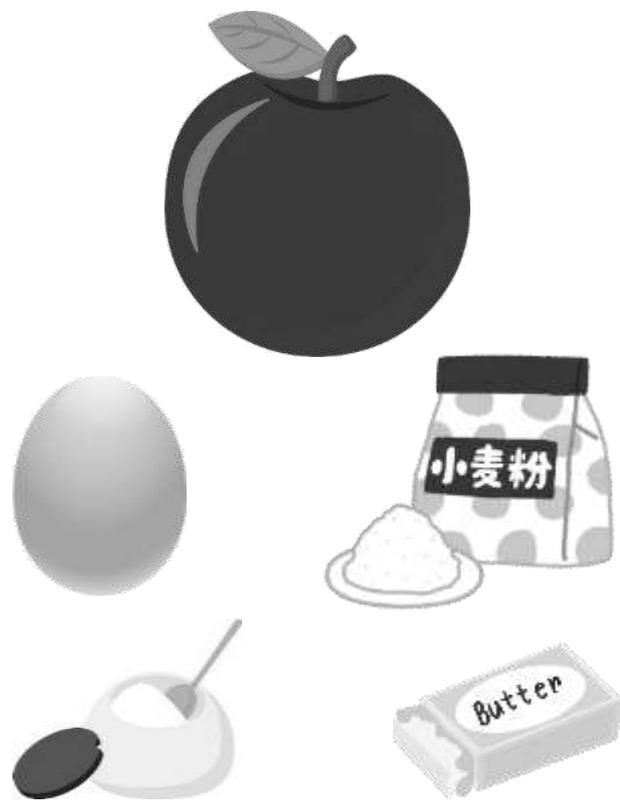


# 付加価値とは

【材料費】300円

【諸経費】300円

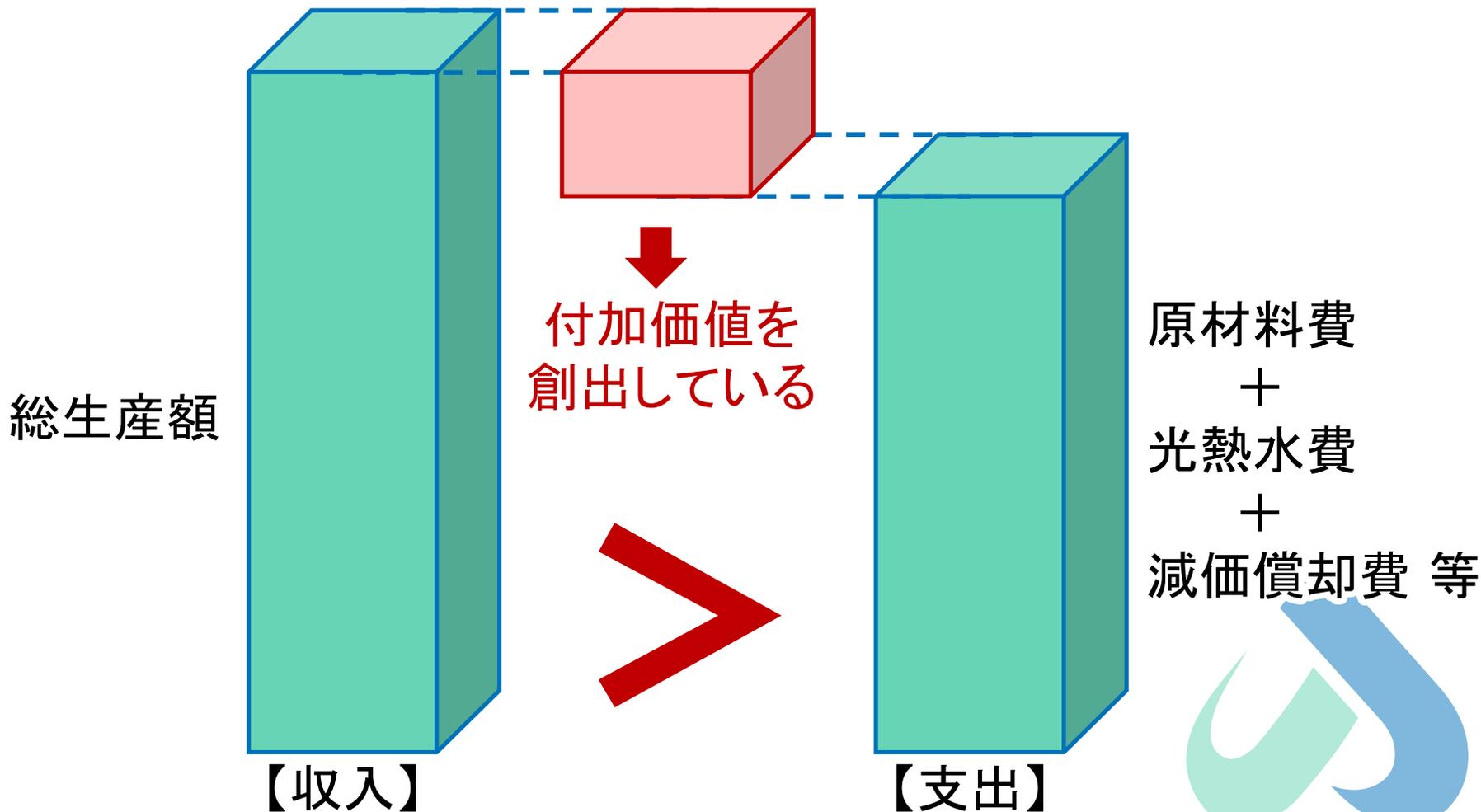
【価格】1,000円



⇒ 400円の付加価値が発生

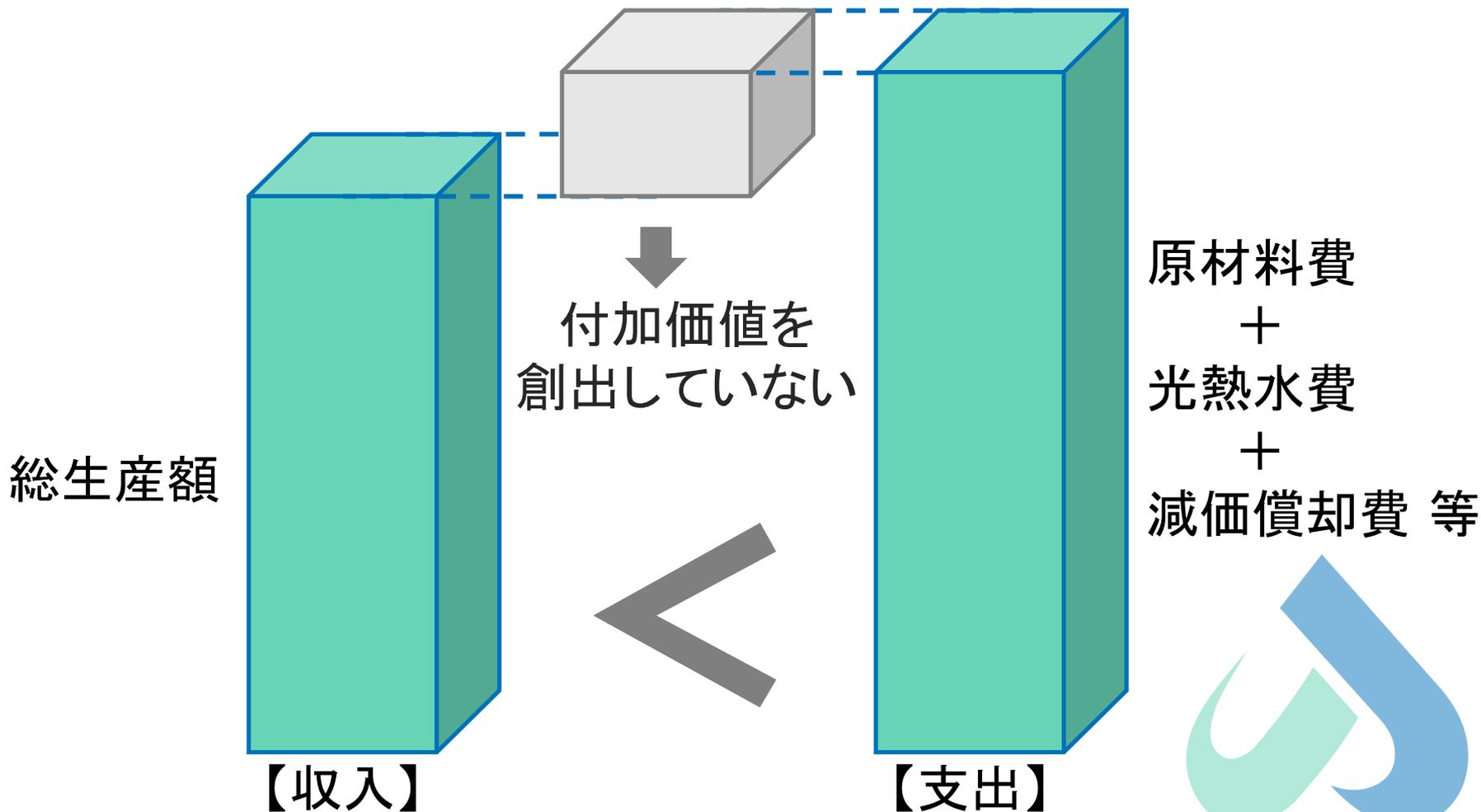


# 一般企業の場合



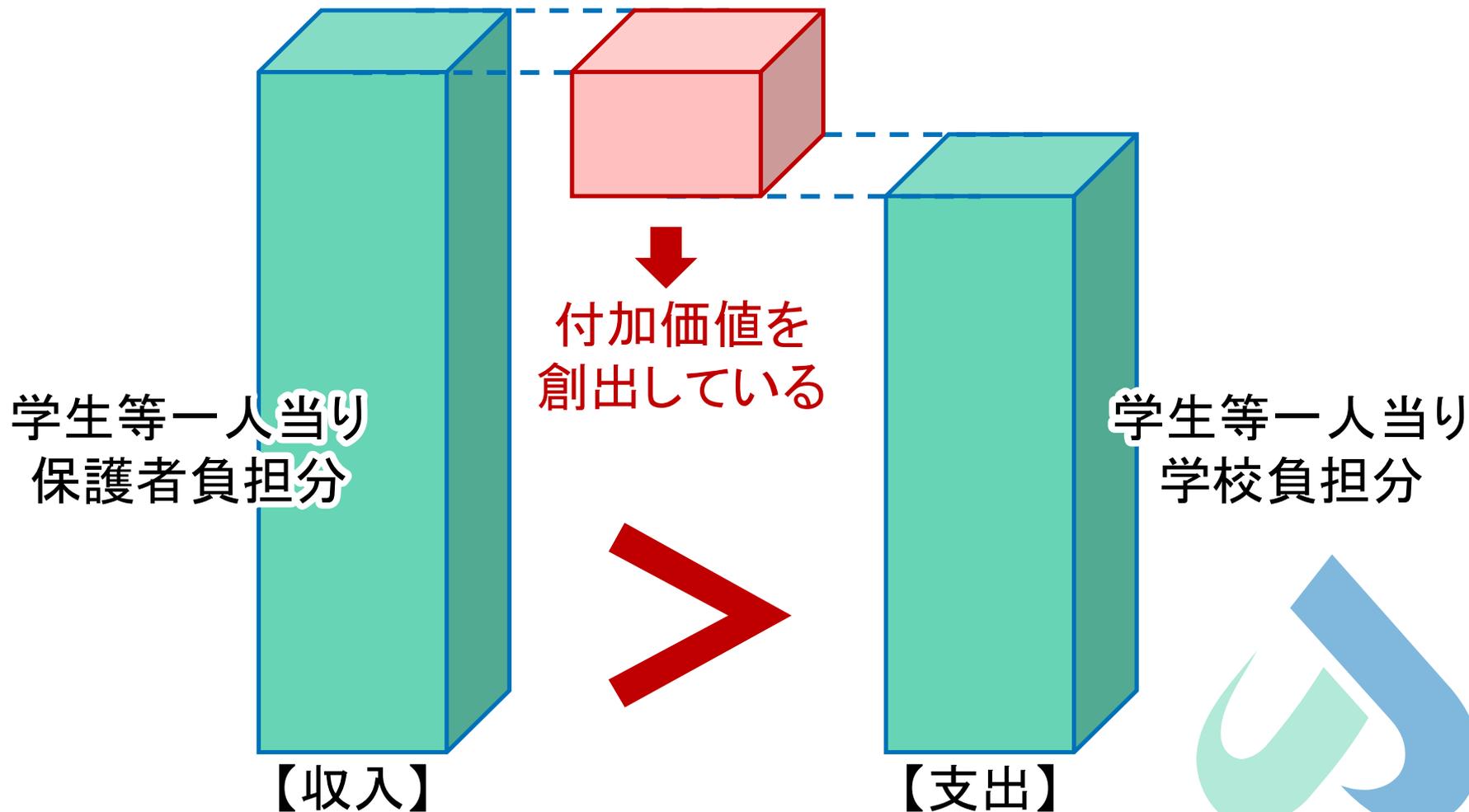


# 一般企業の場合



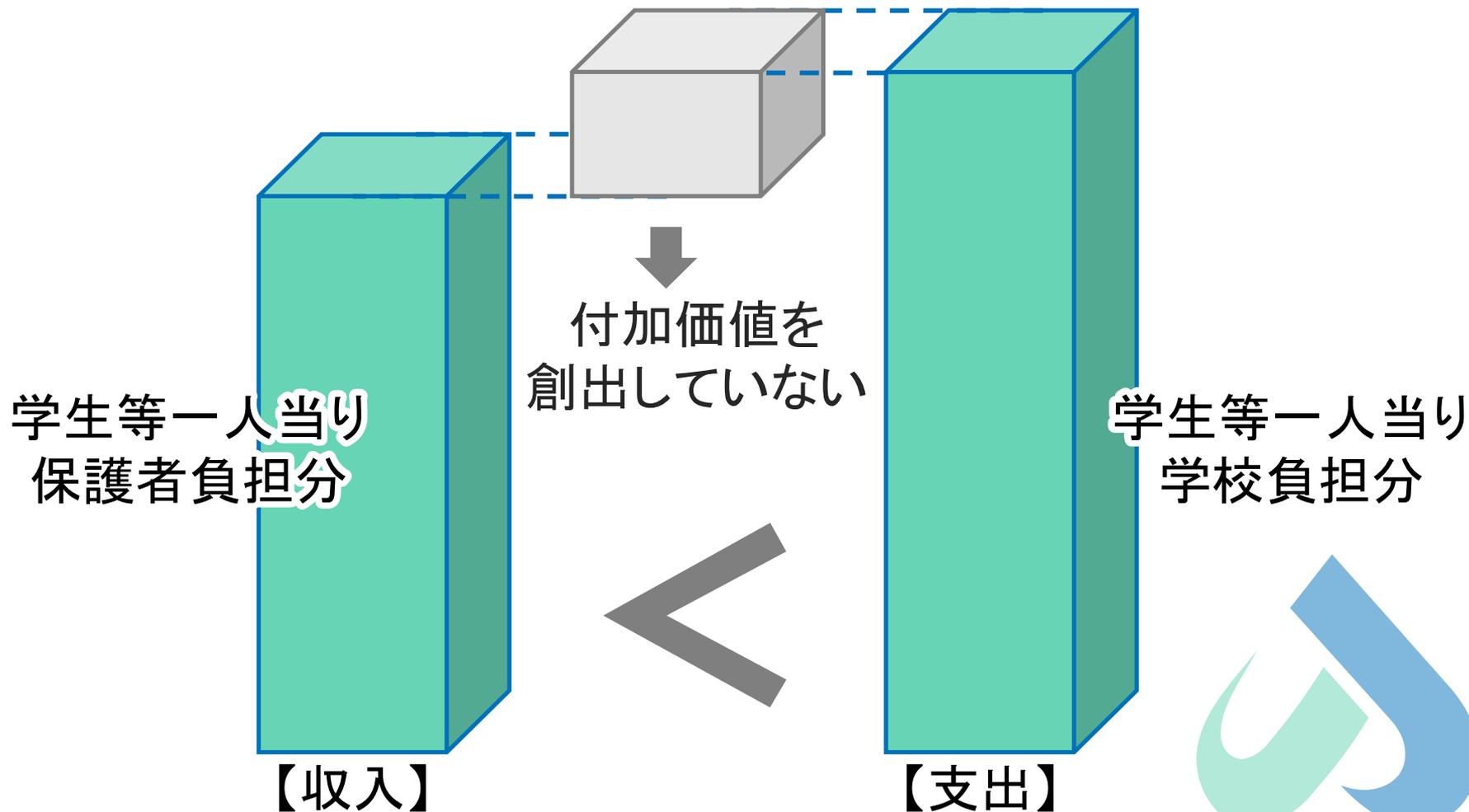


# 私立学校の場合（保護者に注目）





# 私立学校の場合（保護者に注目）





# 教育の質で勝負する学校





# 教育の質で勝負できる学校

◆ 文部科学省が考える教育の質



◆ 安城学園が考える教育の質





# 教育の質(文部科学省版)

## 文部科学省が考える教育の質に関する客観的指標(大学・短大版)

### ◆ 全学的チェック体制

- ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの点検・評価
- 全学的な教学マネジメント体制の構築
- IR機能の整備
- 教員の評価制度の設定

### ◆ 学生の学び保証体制

- 学生の学修時間・学修行動の把握
- 学生の学修成果の把握
- 学生による授業評価結果の活用

### ◆ カリキュラムマネジメント体制

- 履修系統図またはナンバリングの実施
- アセスメントポリシーの整備
- GPA制度の導入、活用
- 履修科目登録単位数の上限設定
- 準備学習に必要な時間等のシラバスへの明記
- シラバス記載内容の第三者チェックの実施

(株式会社進研アド「Between 情報サイト」から)

※注) 高校版 & 幼稚園版の教育の質に関する客観的指標を策定する必要がある



# 教育の質(文部科学省版)

## 文部科学省が考える教育の質に関する客観的指標(大学・短大版)

### ◆ 全学的チェック体制

- ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの点検・評価
- 全学的な教学マネジメント体制の構築

### ◆ カリキュラムマネジメント体制

- 履修系統図またはナンバリングの実施
- アセスメントポリシーの整備
- GPA制度の導入、活用

## 第一ステージ(正課の授業)で

## 勝負できる学校を作るための共通必要条件

### ◆ 学生の学び保証体制

- 学生の学修時間・学修行動の把握
- 学生の学修成果の把握
- 学生による授業評価結果の活用

- 履修科目登録単位数の上限設定
- 準備学習に必要な時間等のシラバス記載内容の第三者チェックの実施

(株式会社進研アド「Between 情報サイト」から)

※注) 高校版 & 幼稚園版の教育の質に関する客観的指標を策定する必要がある



# 教育における4つのステージ



第一ステージ(正課の授業)



第二ステージ(課外活動)



第三ステージ(地域活動)

第四ステージ(海外交流)





# 教育における4つのステージ



第一ステージ(正課の授業)

**第一ステージ(正課の授業)で  
勝負できる学校を作ることが最重要課題**



# 教育の質で勝負できる学校

◆ 文部科学省が考える教育の質



◆ 安城学園が考える教育の質





# 教育の質(安城学園版)

## ◆ 私立学校の場合、全ての始まりは**寄附行為**である

### ● 法人の目的

- 「建学の理念」と「建学の精神」と「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することである。

### ● 法人の教育方針

- 「智・徳・体・感・行」に基づいた学修(学習)システムと自学・共学システムを開発し、これに基づいて本法人の事業を行う。



# 従来の学校教育モデル

確かな学力



豊かな心

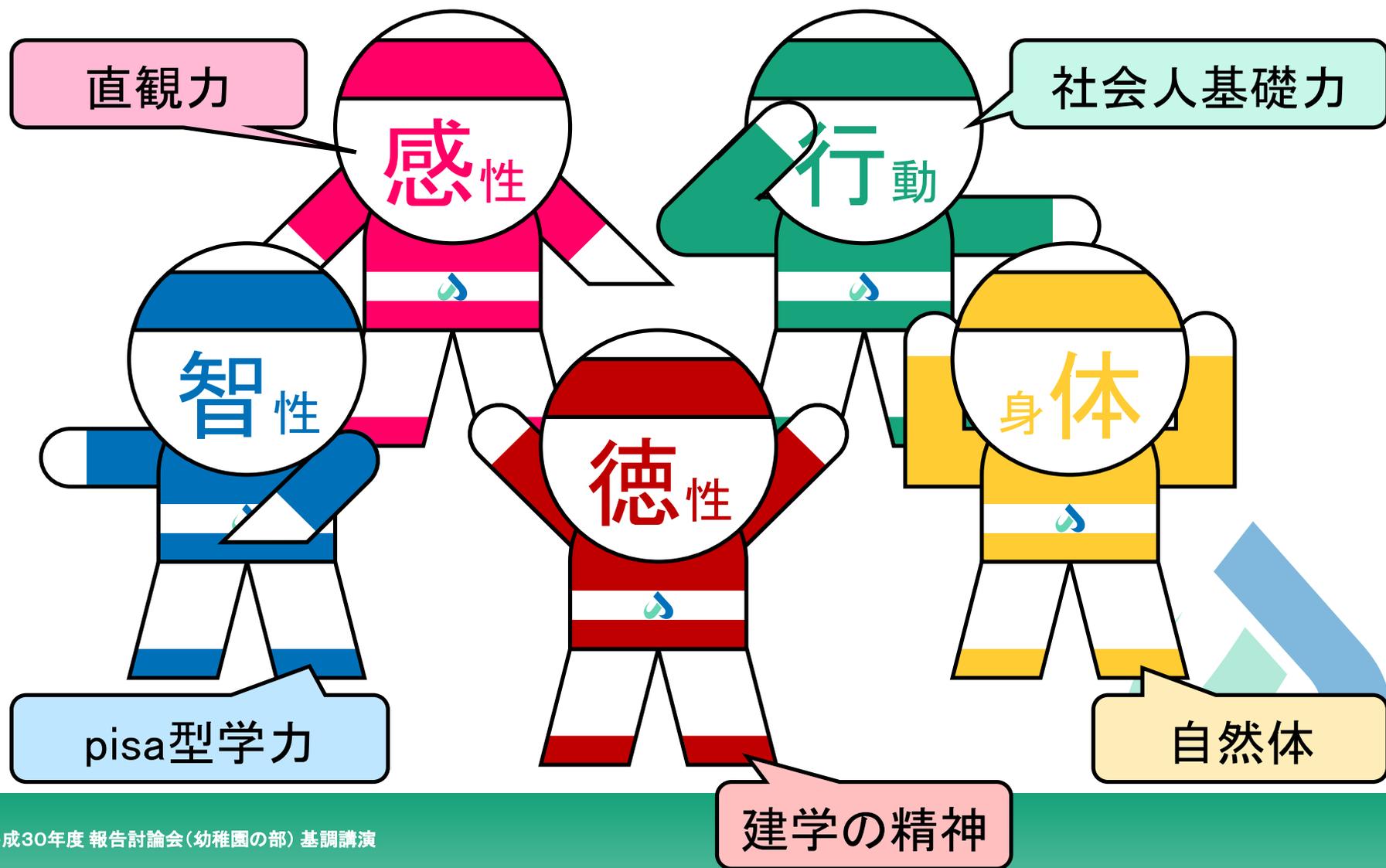


健やかな体





# 安城学園の教育モデル





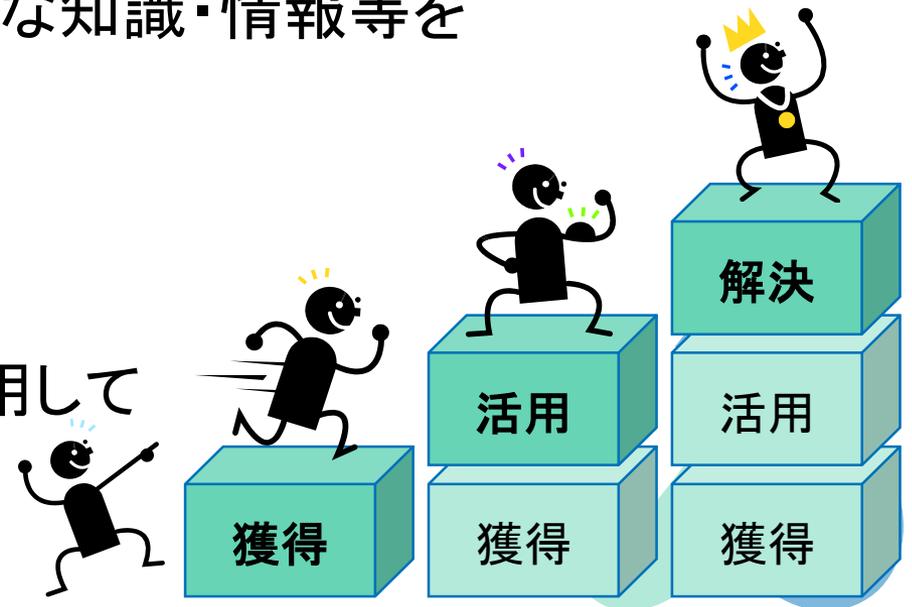
# 建学の精神(安城学園全体)

- ◆ 生命体構想
- ◆ 個人として自立しつつありとあらゆる生命体と共生することによって
- ◆ 生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた人生を送ること

(寄附行為 第5条第1項より抜粋)



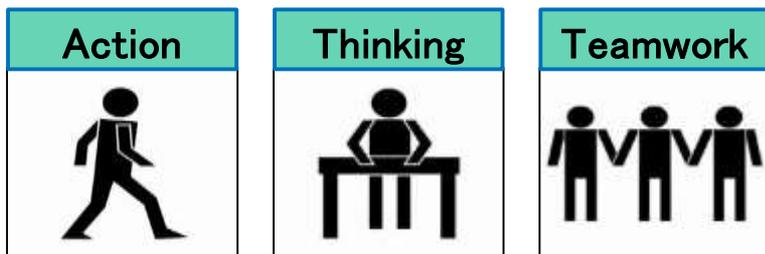
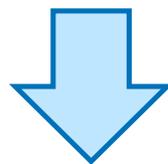
- ◆ 3つの能力を統合した課題解決に必要な学力
- ◆ 「獲得する力」から「活用する力」そして「解決する力」へと成長させることを目指す
  - 課題を解決するために必要な知識・情報等を**獲得する力**
  - 獲得した知識・情報等を**活用する力**
  - 獲得した知識・情報等を活用して課題を**解決する力**





# 社会人基礎力

◆ 複数の人々がお互いに協力・協働して共通の課題等を解決していくに当たって、一人ひとりのメンバーに要求される3つの能力を統合した行動特性



- 前に踏み出す力
- 考え抜く力
- チームで働く力





# 安城学園の学習モデル(幼稚園)

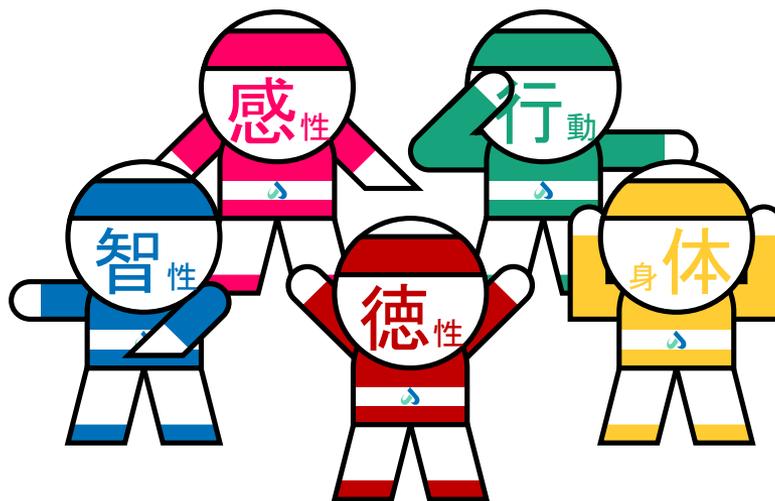
- ◆ 3つの幼稚園にとって学習モデル「智・徳・体・感・行」とは「**智性**を育み・**徳性**を育み・**身体**を育み・**感性**を育み・**行動**を育む」ことを意味する
  - **智性**を育む 「あそびと集団生活を通して**智慧**を育む」ことにより **pisa型学力**の基礎の基礎を培う
  - **徳性**を育む 「あそびと集団生活を通して**心**を育む」ことにより **建学の精神**の基礎の基礎を培う
  - **身体**を育む 「あそびと集団生活を通して**身体**を育む」ことにより **自然体**の基礎の基礎を培う
  - **感性**を育む 「あそびと集団生活を通して**感性**を育む」ことにより **直観力**の基礎の基礎を培う
  - **行動**を育む 「あそびと集団生活を通して**創造力**を育む」ことにより **社会人基礎力**の基礎の基礎を培う





# 「賢さ」の再定義

- ◆ pisa型学力(智性)・建学の精神(徳性)・自然体(身体)・直観力(感性)・社会人基礎力(行動)をバランス良く身に付けている
- ◆ 自ら学ぶ力と共に学ぶ力を身に付けている





# 「賢さ」の再定義

- ◆ pisa型学力(智性)・建学の精神(徳性)・自然体(身体)・直観力(感性)・社会人基礎力(行動)をバランス良く身に付けている
- ◆ 自ら学ぶ力と共に学ぶ力を身に付けている

「賢さ」を再定義し  
本学園独自の「賢さ」をブランド化することによって  
教育の質で勝負できる学校を作る



# 安城学園が求める教職員像





# 今後 安城学園が求める教職員像

- ◆ 社会の**変化に適応**するために**3つの挑戦※**ができる
- ◆ 社会に**変化を誘起**するために**3つの挑戦※**ができる
- ◆ **自己点検・自己評価**するために**3つの挑戦※**ができる
- ◆ **安城学園教職員憲章に基づいて行動**するために**3つの挑戦※**ができる
- ◆ **教育システム「学びの泉」(仮称)の開発・実践**に向けて**3つの挑戦※**ができる

※) **3つの挑戦**…**苦手**への挑戦、**上達**への挑戦、**未知**への挑戦



# 安城学園教職員憲章

- 一、「誰でも無限の可能性を持っている」という  
創立者の信念を共有しましょう
- 一、家庭と職場に温かい心と新しい息吹を与えるために  
「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践しましょう
- 一、建学の精神の実践を通して、  
私たち一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで開発しましょう
- 一、職場と地域社会の課題を解決するために、  
私たち一人ひとりのマネジメント能力を高めましょう
- 一、「私たちの仕事はまちづくり」をモットーに、  
地域の人材育成を通して「三河のまちづくり」に貢献しましょう
- 一、無限の可能性に挑戦できるように、  
智・徳・体だけでなく、感性と行動も鍛え上げましょう
- 一、建学の理念「庶民性と先見性」を実現することによって、  
安城学園の歴史と伝統を継承・発展させましょう

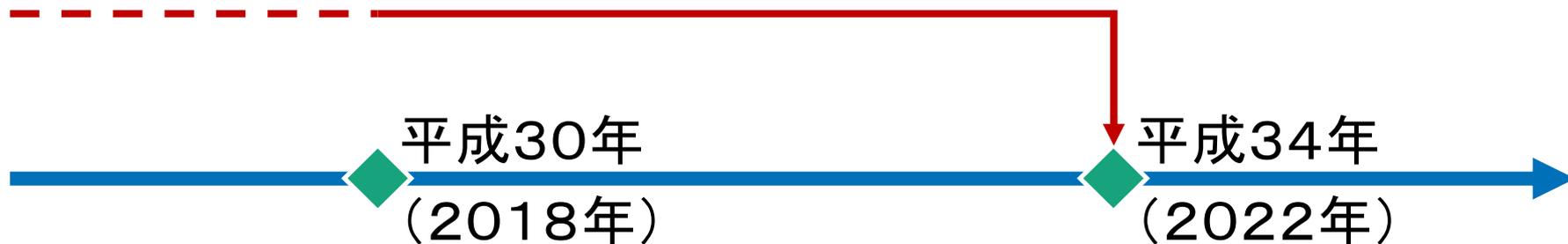


# 当面の課題



◆ **第1期** (遅くとも～平成33年度)

- 試行的な開発・実践
- 準備期間、基盤形成期





# スケジュール

## ◆ 第1期(遅くとも～平成33年度)

- 試行的な開発・実践
- 準備期間、基盤形成期



## ◆ 第2期(遅くとも平成34年度～)

- 本格的な開発・実践



# 設置校の当面の課題

## 教育の質に関する客観的指標(大学・短大版)に対する取り組み

### ◆ 全学的チェック体制

- ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの点検・評価
- 全学的な教学マネジメント体制の構築
- IR機能の整備
- 教員の評価制度の設定

### ◆ 学生の学び保証体制

- 学生の学修時間・学修行動の把握
- 学生の学修成果の把握
- 学生による授業評価結果の活用

### ◆ カリキュラムマネジメント体制

- 履修系統図またはナンバリングの実施
- アセスメントポリシーの整備
- GPA制度の導入、活用
- 履修科目登録単位数の上限設定
- 準備学習に必要な時間等のシラバスへの明記
- シラバス記載内容の第三者チェックの実施

※注) 高校・幼稚園も教育の質に関する客観的指標を策定し、取り組む



# 設置校の当面の課題

## ◆ 7つの教育システム「学びの泉」(仮称)に対する取り組み

- 愛知学泉大学版 教育システム「学びの泉」※
- 愛知学泉短期大学版 教育システム「学びの泉」※
- 安城学園高等学校版 教育システム「学びの泉」※
- 岡崎城西高等学校版 教育システム「学びの泉」※
- 愛知学泉短期大学附属幼稚園版 教育システム「学びの泉」※
- 愛知学泉大学附属幼稚園版 教育システム「学びの泉」※
- 愛知学泉大学附属桜井幼稚園版 教育システム「学びの泉」※

の基盤の構築

※教育システム「学びの泉」(仮称)…「智性・徳性・身体・感性・行動」に基づいた自学・共学システム



# 教職員の当面の課題

## ◆ 幼稚園の教職員の場合

- シラバス及び教材の組織的開発に向けて3つの挑戦を行うこと
- マネジメント能力の向上に向けて3つの挑戦を行うこと
- どの設置校でも能力を発揮できるように3つの挑戦を行うこと
- 教育システム「学びの泉」(仮称)を開発するための教育に関する研究活動の推進に向けて3つの挑戦を行うこと
- ティーチャー ⇒ ティーチャー + ファシリテーター + …  
教員の役割の変化に適応するために3つの挑戦を行うこと
- 教育に関する専門性を高めるために3つの挑戦を行うこと
- 文系・理系の枠を超えた総合力を高めるために3つの挑戦を行うこと



# 働き方改革





# 働き方改革

- ◆ 私たちの共通の目標を実現するために必要な働き方改革
  - 勤務時間の適正管理
  - 業務内容・業務量のスクラップ&ビルト
  - 事務の合理化の推進等業務方法の改善
  - 専任教職員の業務・教育職員の業務等々業務の役割分担の適正化
  - 教職員のスキルアップ
  - 勤務時間に関する意識改革





# 幼児教育の質を考えるヒント

## 資料1 幼小接続期の育ち・学びに関する研究調査（保育者用）

質問紙No.  さんについてお尋ねします 学年： 月 日

Q1 3歳児後半の姿を思い浮かべ、クラス全体の育ちや学びから考えて、お答えください。  
以下のことについて、どのくらい当てはまりますか。

	全く当てはまらない	あまり当てはまらない	まあまあ当てはまる	とても当てはまる
1. 友達に話しかけるのを言われても、あまり嫌がらない	1	2	3	4
2. 遊びや活動に参加して、積極的に友達と遊ぶ	1	2	3	4
3. 他の友達が清潔に取り組もうとするのを観察する	1	2	3	4
4. 今まで経験したことのない行事や遊びでも、ためらわずにすぐ入り込める	1	2	3	4
5. 物事をあきらめずに、挑戦することができる	1	2	3	4
6. 友達と対立した際には、自分の考えを伝えるなどして折り合いをつける	1	2	3	4
7. 人の話を終わるまで静かに聞くことができる	1	2	3	4
8. 園やクラスの決まり・ルールを守って、満足したり誇りしたりする	1	2	3	4
9. 落ちるなど、良いこととしていられない	1	2	3	4
10. 役割めがたことは最後までやり遂げる	1	2	3	4
11. 自分のやりたいことがあっても、やる必要のあることを優先して行動できる	1	2	3	4
12. いろいろなお友だちに対して、自信を持って取り組める	1	2	3	4
13. 自分の思い通りのならぬこと、すぐにかんしゃくを起こす	1	2	3	4
14. 多少の戸惑いや不安を感じても、変化を柔軟に受け止めることができる	1	2	3	4
15. すぐにはうまくいかないことでも、粘り強く取り組んでがんばることができる	1	2	3	4
16. やる気なくとも必要があれば、自分から取り組む	1	2	3	4
17. 友達とけんかをしたり、忘れ忘れたりする	1	2	3	4
18. 叱られるなどしていても、しげくすると、ふだんの様子に戻る	1	2	3	4
19. 憧れや「こうしたい」という目標に向かって、熱心に取り組むことができる	1	2	3	4
20. 自分のやりたいことを素直に表現する	1	2	3	4
21. 新しい友達や仲良かった人に、親しみをもち自分から積極的にかかわる	1	2	3	4
22. いびきたりおねだりして、かかきも押し返さうとする	1	2	3	4
23. 保育者と楽しそうにおしゃべりする	1	2	3	4
24. 作ったものを友達にこめられたとき、怒ってもしげなくすぐ落ちついて、新しく作り直始める	1	2	3	4
25. 自分の作ったことや物・作品について、誇らしい気持ちをもっている	1	2	3	4

裏へ続きます

Q2 3歳児後半の姿を思い浮かべ、クラス全体の育ちや学びから考えて、お答えください。  
以下のことについて、どのくらい当てはまりますか。

	全く当てはまらない	あまり当てはまらない	まあまあ当てはまる	とても当てはまる
1. 自分の思いや考えを相手にわかるように説明できる	1	2	3	4
2. 友達を遊びに誘ったり、遊びに知らなったりすることができる	1	2	3	4
3. 困ったときには、周りの人に助けを求めることができる	1	2	3	4
4. 友達からの提案をことまかせたり、「いいや」や「だめ」などと言返す	1	2	3	4
5. みんなの前で、自分の考えを話したり発表したりすることができる	1	2	3	4
6. 朝の人間関係に悩んだり、おもしろい、結果としていたりするなどの感情をよく理解できる	1	2	3	4
7. 新しいことには興味を持って「不思議だな」など感ぜたり、調べたりする	1	2	3	4
8. 友達と意見の違っても、自分の考えを主張することができる	1	2	3	4
9. 友達とけんかをしても、自分から謝るとして仲直りできる	1	2	3	4
10. 何かトラブルが起きたとき、自分のことだけではなく、友達のことも考えて解決しようとする努力をする	1	2	3	4
11. 友達が困っているときや泣いているとき、なぐさめたり手伝ったりする	1	2	3	4
12. 園やクラスのために必要な役割や活動、責任をもって果たすことができる	1	2	3	4
13. 自然の素材や道具を取り入れて満足したり、考えのことを色々工夫で話したり聞いたりする	1	2	3	4
14. 遊びや活動で、友達と力を合わせるなどすることができる	1	2	3	4
15. 人に自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の意見を聞いたりすることができる	1	2	3	4
16. みんなで何かをやり遂げようとするとき、積極的に話し合いに参加する	1	2	3	4
17. 自分でやりたいことを考え、魚とトコトコして作ったり完成させたりする	1	2	3	4
18. 活動の目的に向かって役割を分担し、みんなと一緒にやり遂げようとする	1	2	3	4
19. 友達なものの特性に基づいてまかしたり、物事の法則・規則性を気づかせたりする	1	2	3	4
20. 別の意見に傾けて、自分なりに取り組んだり、新しい考えを生み出したがる	1	2	3	4

長い時間ご協力いただき、ありがとうございました



さいごに





# 教育システム「学びの泉」を完成するために

教職員各位の潜在能力が  
私たちの共通目標である本学園の仕事を通して  
可能性の限界まで開発されますことを  
心からご祈念申し上げます





ご清聴

ありがとうございました

